

八千代オイコス かわら版

第4号

平成19年4月1日発行
NPO 法人八千代オイコス
<http://www.yachiyo-oikos.jp/>

～～桑納川アダプト報告～～

県千葉地域整備センター 片岡 嘉雅

3月24日(土)午前10時～12時、八千代オイコスの方々により桑納川のたか橋から睦橋の区間で河川区域内のゴミ拾いを行いました。

この活動は、県千葉地域整備センターと八千代市、八千代オイコスの三者により平成18年度限りの合意書を締結し、いわゆるアダプトプログラムによる清掃美化活動を試行という形で実施いたしました。

印旛沼連携プログラムの本格実施は平成19年度からで、新たに合意書を締結させていただきますので会員の皆様にはよろしく願いいたします。



さて、今回の試行実施千葉地域整備センターから私(片岡)と八千代市環境保全課の関さん、合計10名により桑納川の土手に捨てられているゴミを拾い集めました。中には30インチ近いテレビなどの大物も見つかり、2時間足らずでボランティア袋が30袋近くにもなりました。全部を拾い集めるには至りません

でした。地道な活動を今後もお願いしたいと思います。

活動後に頂いた朝搾りたての牛乳は、たいへんおいしく何杯もおかわりしてしまいました。御馳走様でした。

《やちよ菜の花ウォーク開催・八千代オイコスも参画》

東葉高速鉄道・八千代レクリエーション協会・やちよお花畑委員会共催の「やちよ菜の花ウォーク」が3月10日(土)に開催されました。

東葉高速緑が丘駅を9時30分に出発、花輪川を通過し新川の菜の花畑まで10kmのウォーキングが行われました。

オイコスはおよそ400名の参加者に花輪川で高秀牧場の牛乳を温めて振る舞いエールを送りました。(金室)



第7回社員総会から・・・

本年4月8日(日)社員総会を開催。3月末現在の社員総数は40名、総会出席者15名、委任状16通でした。

18年度も多く事業を手がけてきましたが、19年度の活動計画も含め次の通り主な活動の概要を報告いたします。

(事務局)



《活動項目》	《18年度活動報告》	《19年度活動計画》
1.よみがえれ花輪川事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・定例作業を毎月第1日曜日に実施 ・八千代市環境美化アダプト制度及び八千代緑が丘基金助成事業にて、清掃、自然環境保全、草木の植樹、花壇の増設等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度も継続実施 ・本年度も「水辺の復活」「生き物のすみかづくり」の活動を引き続き実施していく
2.印旛沼連携プログラム	<ul style="list-style-type: none"> ・桑納川の睦橋～高橋間を清掃、自然観察を行った ・3月24日に一般市民とエコウォーキングを行った 	<ul style="list-style-type: none"> ・エコウォーキングを5月20日(日)、10月28日(日)に開催予定
3.印旛沼あっぷ事業	<ul style="list-style-type: none"> ・「2006事業」に参加 ・水質浄化作用として水草の植栽、育成を行った ・生き物の棲みか作りとして石積、粗朶作りを実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・自主事業として本年度も継続する 
4.川の学校開校	<ul style="list-style-type: none"> ・花輪川で子どもネット八千代会員の児童27名他総勢45名にて8月10日(木)体験学習を行った 	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休中に子どもネット八千代及び市内の小中学生を対象に2日間開催予定
5.花輪川フェスティバル	<ul style="list-style-type: none"> ・10月28日(土)、29日(日)の両日、高秀牧場にて、竹炭焼、バーベキュー、そば打ち、わらじ作り等を行った 	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度も10月27日(土)28日(日)に同じ場所で開催予定
6.食育活動	<ul style="list-style-type: none"> ・「やちよ食育ネット」の中で活動 ・「かわら版」の各号シリーズで紹介 	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度も継続
7.ホテル調査	<ul style="list-style-type: none"> ・6月下旬～8月下旬の間、市内に棲息するホテルの分布集計を行いホテルマップを作成した 	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度も継続
8.ホテルを探す会	<ul style="list-style-type: none"> ・7月29日(土)、石神谷津で開催。約50名の参加があった 	<ul style="list-style-type: none"> ・7月28日(土)石神谷津で開催予定
9.竹炭焼学習会	<ul style="list-style-type: none"> ・年3回実施し、販売可能な商品づくりに挑戦した 	<ul style="list-style-type: none"> ・5月、11月、3月の3回予定し、品質アップを図る
10.グランドワークによるまちづくりフォーラムの開催	<ul style="list-style-type: none"> ・11月19日(日)に市内の活動団体と協働で開催した 	<ul style="list-style-type: none"> ・実行委員会を継続する

11.米づくり	・有志により萱田地区に田を作り稲作を体験した	・本年度も有志により継続する
12.冬みず田んぼ調査		・印旛沼みためし5年間事業に水質調査等で参画
13.エコメッセ千葉	・「エコメッセ千葉 2006」幕張メッセで開催のイベントに参加	・9月9日に参加予定
14.八千代市民活動サポートセンター	・サポートセンター祭り(11月)、広報力UP講座(1月)等に参加	・サポートセンター祭り、フォーラム等に積極的に参加予定
15.広報活動	・ホームページによる広報活動 ・広報紙「かわら版」を7月、11月、1月と3回発行した	・本年度も継続、更に充実を図る ・「かわら版」を年4回の発行を予定

成果と期待

- (1) 「川の学校」は、子ども達が川を見、川に入り、調べ、多くの「気づき」を得ることが出来た。毎年続けることで子ども達が自然を大切にする心を育む良い機会になると期待される。
- (2) 「印旛沼わいわい会議」や「印旛沼あつぷ事業」への参画は内部的にも啓発され、更なる進歩につながってきている。
- (3) 花輪川クリーン作戦、アダプト制度に関しては印旛沼、印旛沼流入河川等に広げていけるのではと期待できる。
- (4) 地域活動は年々その輪を広げてきているが今後、更なる広がりが期待できる。

NPO八千代オイコス当初から、市民・企業・行政との協働に基づく環境保全をモットーに活動を進めてきているがこれからも多くの主体との協働を進めていきたい。



田邊 画

《食育の推進シリーズ》(第3回) ～地産地消の取り組み～

子どもたちに八千代の野菜を食べてもらうのは大賛成です。

「知る」ということにつながると、もっと「好き」になると思います

これは、ある小学校の学校給食の調理員さんの声です。やちよ食育ネットでは、地元の旬の食材・鮮度のよい食材を使うことが、食べものを選ぶ力や食べものを大切にする気持ちを育むことにつながると考え、八千代産の食材を学校給食にもっと活用してもらえよう試行を重ねています。今まで単独給食校を対象に3回実施し、その都度、農業生産者が野菜を持参して学校を訪問し子どもたちに野菜づくりの苦労話などを行っており、毎回大変好評です。また、地元産の食材を使用した日の給食は食べ残しが減るという効果があるようです。(寒川)



◆◆◆ オイコス会員寄稿(その1) ◆◆◆

オイコスの皆さんが趣味や日頃の活動などを通しての自己紹介、今回はその第一回です。

「野菜づくり一年生」 島 秀光

平成16年2月、17年3月、相次いで妻の両親が他界した。信州坂北村の実家は以来住む主もなくひっそりしている。法事の席上「畑をやってみる」と宣言したのがキッカケだった。隣の山崎さんに全面的なご指導、協力をいただいた。

まずはジャガイモ、長ネギからスタートした。収穫時、ジャガイモは大は600グラムから小はピンポン玉まで大量に取れた。早速送料の高さを忘れ息子達に送った。周辺にはフキノトウ、ウド、ツクシ、タラの芽など自然からの恵が沢山ある。西には雪をいただく北アルプスの山々が連なり心がほっとなごむ田舎だ。家の風通しと野菜の成長ぶりを見に月一回信州行きを楽しんでいる。



“地域のために、次の世代の為になにかを”と
お考えの方!

八千代オイコスの仲間になりませんか!

八千代オイコスは、市内西南部を流れ桑納川から新川にそそぐ「花輪川」を活動の拠点に地域の環境を守る活動をしています。時には「川の学校」を開催し子ども達と一緒に勉強したり楽しんだり、又、フォーラムなどを通して街づくりにも取り組んでいます。

専門的な知識や経験は特に必要ありません。同じ志を持った人たちの集まりです。皆様のご入会をお待ちしております。入会ご希望の方は事務局までお願いします。年会費は千円、入会金は無料です。

「布の草履づくり」 荒井郁郎

10月の小春日、牧場の畑を借り炭焼き、蕎麦打ち、豚汁及び乳搾り体験の合間を縫って草原にシートを敷いて、親子10組程が布草履づくりに挑戦しました。初めに用意したポンチ絵で作り方の説明と実際にやって見せてから材料となる芯のビニール紐、裂いたゆかた布、鼻緒を渡しスターとしました。芯紐がうまく足に掛からない子、初めがうまくいかず編めない子がいましたが、手ほどきしながら何とかスタートし、芯紐4重の上下を交互に指で締め付けながら編み、布を足しながら編んでいく。緒を付ける段階で、また一苦労、こっちでもあっちでも、どうするのかと聞かれ手伝いながら、何とか緒を取りつけ、また繰り返しの作業となる。

緒の位置と足の大きさに合わせて終了し、芯紐を引いて踵部分を丸く格好良く絞めるのがコツの



ようです。鼻緒を付け最後に引いた芯紐を出口面で切って完了です。彩り豊に上手に出来た子、ウナギの草履のように幅が狭く細長くなってしまった子等々いたが全員がそれなりに完成して満面の笑顔で終了し楽しい一時でした。最近は布草履を作ってスリッパ代わりに使う人が増えているようです。肌(足裏)触りが良く、特に夏場は汗を吸収してくれるので、使用している人が多いようで流行っています。皆さんも挑戦してみてもいいのではないでしょうか。

発行責任者：加藤 賢三
事務局&問合せ：小原 翔
☎：047-450-4663
(メールアドレス)
o-syou@muc.biglobe.ne.jp